

『僕らの広(七-〇-)ハタデミア』

藤枝市立広幡小学校

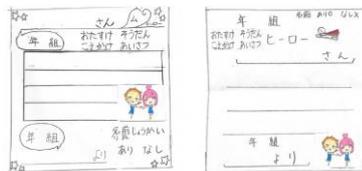
月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	一年生を迎える会	仲間づくりステップめあて設定 人間関係作りプログラム実施 ペアさんと顔合わせ	ピア・サポート活動 共通理解
5月	運動会	仲間づくりステップ振り返り	
6月	挑戦ステージ式にて、ピア・サポート活動の紹介とクラスのピア・サポートめあて作成のお願い	挑戦ステップめあて設定 人間関係作りプログラム実施 ペア活動実施	
7月		園芸ポスターコンクール(園芸委員会)	
8・9月		人間関係作りプログラム実施 ペア活動実施 挑戦ステップ振り返り	
10月		かがやきステップめあて設定 緑の募金(園芸委員会) 給食すごろく(給食委員会)	
11月		ペア活動実施 赤い羽根募金(福祉委員会) 人間関係作りプログラム実施 アルミ缶回収キャンペーン(福祉委員会)	
12月		ペア活動実施 かがやきステップ振り返り 教室換気キャンペーン(保健委員会)	
1月	飛躍ステップ式にて、お世話になっている方へ感謝の気持ちを伝えることについて全校児童へ発信	飛躍ステップめあて設定 人間関係作りプログラム実施	
2月	愛校清掃活動	ペア活動実施 感謝の手紙の作成	
3月	はばたきの会(六年生を送る会)	飛躍ステップ振り返り ピア・サポートの振り返りまとめ	ピア・サポート活動 振り返り

1 本校のピア・サポート

◆児童会活動

児童会ではピア・サポートの充実を目指し、下記の活動を主に行った。

- ピア・サポートの樹
- ピア・サポートカード
- ピア・サポートの充実をねらいとした児童会による劇の動画
- 「僕らの広（ヒーロー）ハタデミア」



2 特徴的な活動

『ピア・サポートの充実をねらいとした児童会による劇の動画』

本校は1年を4つのステージに分けている。それぞれのステージの初日には、全校でめあてを確認するステージ式がある。式の中で、児童会からの全校に向けて呼びかける時間を設けていただき、ステージごとのピア・サポートのめあてを紹介した。児童会から全校に向けてステージごとのめあてを伝え、そのめあてに向かって具体的にどのようなことに取り組んだらよいのかを紹介することにより、全校で共通理解することができた。本校の最終ステージである飛躍ステージのめあては「自己や集団の成長を自覚し、関わりのあった人に感謝するとともに次の出会いに向かう気持ちをもつ」である。そのため、児童会のめあては「ピア・サポートでありがとうを伝えよう」と設定した。本校の教育計画に表されているステージごとの目指す子どもの姿とピア・サポートを行う子どもの理想の姿に関わりをもたせることで、学校教育目標や重点目標に沿った姿を目指して指導を行うことができた。

『僕らの広（ヒーロー）ハタデミア』

ピア・サポートの取り組みにマンネリと、質の停滞が見え始めたころ、児童会の子どもたちと、どうすれば広幡小学校のピア・サポートがレベルアップするのか話し合った。その結果、アニメのタイトルにあやかった『僕らの広（ヒーロー）ハタデミア』が生まれた。

これまで取り組んできたピア・サポートカードを「お助け広(ヒーロー)」「あいさつ広(ヒーロー)」「声かけ広(ヒーロー)」「お悩み広(ヒーロー)」4つの部門に分けて子ども達書きやすいようにブラッシュアップした。特活掲示板に掲示し、様々な種類のピア・サポートを選定して昼の放送で紹介するという案である。第2ステージにあたる「かがやきステージ」と「ひやくステージ」のステージ式では、各部門のヒーローについて児童会が詳しく紹介した「僕らの広（ヒーロー）ハタデミア」の収録動画を全クラスで視聴した。動画では、今までよりも「個」と「個」や「個」と「集団」のつながりを高められるようなピア・サポートに取り組もうとする子どもたちを見つけられるようにした。周囲に発信する子どもたちの増加も期待できた。

3 本年度の成果と来年度に向けて

- ・子どもたちの中にピア・サポートが定着を見せ、ピア・サポートの理念が広がっている。継続して取り組んでいきたい。また、それぞれの委員会が主体的に、ピア・サポート精神を軸にした活動を発案・実践できた。
- ・今年度のピア・サポートの具体例を来年度に向けて残しておく。また、今年度最後の代表委員会で、今年度行ってきたピア・サポート活動の振り返りをする予定である。そこで出された意見について、来年度に生かしていきたい。